

課題研究方法論③ ～研究テーマを見つける(1)～

1 研究テーマを見つけるための方法

★ どのような課題・研究テーマがあるのかを知る（テキスト P. 32～33）

「先人の研究」を参考にする方法のひとつとして、現在どのような課題や研究テーマで研究が進められているかに注目する方法がある。テキスト P.32～33 には、国連や文部科学省などの取り組み一覧が掲載されているので、一度見てみよう（自分の興味がある分野を書き出してみよう）。

★ 学術分野を知る（テキスト P. 34）

「先人の研究」を参考にする方法のひとつとして、大学などの研究機関で使われている「学術分野」に注目する方法がある（高校で「数学」や「公民」など、その分野の名前がつけられているが、大学に入るとさらに細分化されている）。テキスト P.34 の表 1 には、学術分野の大まかな分類が示されているので、一度見てみよう（自分の興味がある学術分野・分科を書き出してみよう）。

研究を進めながら、より専門的な知識や技能を学ぶ必要がある場合、学術書や学術論文を用いることがある。これらの書籍は、学術分野で分類されているものが多い。現在では、インターネット上で学術論文を見ることもできる（テキスト P.49）。

★ 身のまわりの事象や情報から興味をもつ（テキスト P. 35）

身のまわりで起こっていることや、インターネット・テレビなどから得られる情報から興味をもつことも多い。興味を持ったものから研究テーマを見つけるためには、そのことに関する知識を深める必要がある。深めるためには、まず

(①) を持つ

ことが重要である。「本当にそうなのか?」「なぜそうなるのか?」「もう少し詳しく知りたい」というような疑問を持ちながら、身のまわりの事象や情報に触れ、学習し、知識を深めてみよう。次の(1)～(3)は、疑問を持ついくつかの方法である。

(1) これまでに教科で学習した内容を使って、身のまわりのものを見てみる

例 「身長が高ければ高いほど、靴のサイズも大きい」という記事を見たとしたら…

→ (どのように調べたらよいか、探究方法を考えてみよう)

(2) 入ってくる情報を批判的にみる

「本当にそうなのか?」「なぜそうなるのか?」といった視点で物事を見してみる

例 「トランプ大統領がつぶやきサイトで日本の企業を攻撃している」というニュース

→ (本当に正しいといえるのか、考えてみよう)

TOK(Theory of Knowledge) で学習したことを応用してみてもよいだろう

例 友達何人かに、カップのイメージを聞いてみた。すると、共通する特徴が出てくる

→ (なぜ共通する特徴が出てくるのか、考えてみよう)

2 いろいろな資料を使うに当たって

研究テーマを見つけるためには、いずれにせよ何かしらの「資料」を使う必要が出てくる。ここで、資料を使うにあたって注意すべき点を学習しておこう。

(1) 一次情報と二次情報(テキスト P. 41) (*t)

(2))

研究の直接の対象になっている資料やデータ

(3))

一次情報を(発信者の意図がはたらかせた上で)編集してまとめられた情報

(注) 私たちのまわりにある多くの情報は、二次情報である

二次情報は、一次情報よりも情報そのものの内容の正しさ(信憑性)は(4) _____)なる

→ 情報を伝える「メディア」の特徴を理解した上で、批判的に情報を吟味し、情報の信憑性や価値を正確に評価できる能力(5) _____)を身につける

・複数の情報源で同じ内容を調べ、情報の真偽や妥当性を確認する(6) _____)

次のページで紹介されているものは、同じ一次情報から作られた新聞の記事(二次情報)である。メディアリテラシーやクロスチェックの必要性がわかるだろう。